

鯨田工業団地づくりを ゴリ押し

三菱マテリアル
から購入した

軟弱地盤に21億2千万円

雇用ふやす
というなら

仕事がなく困っている市民が ほんとうに助かる政策こそ必要

9月議会で否決された鯨田工業団地工事契約議案2件が10月20日、臨時議会において賛成20、反対10で可決された。企業誘致の約束が1つもなく、地盤の悪さ、世界経済の不透明さから、今後の

展望も見えないままの見切り発車です。日本共産党市議団は、「土地が売れなくても税金で穴埋めする」という、市長の無責任なやり方を厳しく批判し、引き続き反対しました。(川上直喜議員が討論)

市の借金609億円

つぎ込む予定のお金は、21億2千万円。ほとんど銀行からの借金です。工事の行方によってはふくれあがる危険もあります。土地17・4ヘクタールがすべて売れて返済する計算です。

しかし、まともに売れる見通しはありません。かりに、土地がすべて売れるほど企業が進出しても、雇用人数は580人程度(調査会社の資料から党市議団が試算)。「地元

の雇用は何人になるか」と議会で聞いても、市は見当もつかないという様子でした。

リサーチパーク(幸袋)に誘致したリプロックス社は、345人を雇用するといった

のに1年で破たん。リサーチパークは企業誘致に成功せず、すでに、税金を47億7千万円もつぎ込みました。齊藤市長はいま、同じ道を歩きはじめたといえます。

609億円の借金をかかえる飯塚市です。土地が売れなければ税金投入になり、その分だけくらしや福祉、教育が削られ、市民負担がふえます。生活関連の公共工事の発注も減ります。

地元を応援してこそ

いま飯塚市に必要なのは、仕事がなく困っている市民が、ほんとうに助かる政策に予算を投ずることです。

20数億円のお金をかけるなら、市民サービスや生活開

臨時議会での態度(敬称略)

(賛成) 江口、梶原、若野、八尾、田中裕一、上野、鯉川、田中博文、安藤、柴田、▲藤浦、●吉田、●市場、西、●田中弘文、●道祖、岡部、佐藤、東、木下
(反対) 松本、川上、ゆい、秀村、原田、後藤、瀬戸、永末、永露、森山
(欠席) 人見、●兼本、藤本
●印は9月議会まで反対していた議員
▲印は9月議会に退席していた議員

小中学校の再編、図書館の統合、卸売市場の民間移譲

公共施設のあり方について
第1次実施計画
素案公表

このほど公表された第1次実施計画(素案)は、712施設に及ぶ大規模なものです。しかし、住民サービス向上の立場から市民の声をきちゃんと聞いたとはいえないものが、少なくありません。(11月4日16時から素案を審議)。

小学校は、現在22校を13校から15校に再編(統合)するとしています。対象は次の16校です。飯塚地区(鯨田、飯塚東、菰田、飯塚、片島、幸袋、目尾、蓮台寺、潤野、八木山)、筑穂地区(内野)、穂波地区(桑市、平恒、若菜、棕本、高田)。

中学校は、現在12校を9校から10校へ再編。対象は次の5校です。飯塚地区(飯塚第2、飯塚第3、菰田、幸袋)、穂波地区(穂波東)。実施は4年後とされています。

市議会は、調査特別委員会が11月21日(金)と25日(火)に審議します。日本共産党は川上直喜議員が出席します。



決算特別委員会おわる

ゆいかんじ議員が、部落解放同盟への補助金などを厳しくチェックしました。詳しくは次号で報告します。

10月29日と30日
一般会計決算など